

第 4 回

開催日時	平成24年10月4日（木）19：00～20：30		
開催場所	茨城町役場 2階 大会議室		
出席者	委員	小林一裕，吉岡誠，石川祐一，望月昇，廣戸隆，中村忍，和家貴之 山西正樹，寺山勝衛，高倉進，萩谷元男，坂本孝一，郡司邦子 上田明美，佐藤方彦，山口美知子，美野田龍敬，小貫和通，海老澤忠 (敬称略，順不同)	
	傍聴者	0名	
	その他	鈴木教育長，村田教育次長	
	事務局	学校教育課再編担当	
会議次第	<p>【議事】</p> <p>1 専門部会報告</p> <p>2 統合校の名称について</p> <p>3 その他（次回開催等について）</p>		

第4回 茨城町立中学校統合準備委員会 会議要旨

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 議事

議事（1）専門部会報告

委員長

それでは，議事に入ります。

まず，議事（1）専門部会報告について，学校運営副部長からの報告を求めます。

副部長

制服等モデルの提案依頼について、これまでの経過を報告する。

(1) 業者選定における確認事項

①制服等の販売について

町内繊維組合のみとする

②取扱商品について

制服、ジャージ、バッグ、上履き、その他学校指定品等

③申し合わせ事項

- ・価格やモデル改定の場合は、必ず事前に学校と協議する。
- ・学校がモデル変更を行う場合は、事前に販売店に連絡し、在庫が残らないよう配慮する。
- ・新入生販売等については、販売店代表と事前に話し合い、採寸・注文等に不都合が生じないよう配慮する。
- ・ジャージについては、突然の購入があるため、各販売店に多少の在庫を置くようにする。

(2) 試作モデルの提案依頼

【制服】

①依頼先 3社

②プレゼンテーション

- ・各社から試作モデルを3点以内、30分以内でプレゼンテーションする
- ・平成24年12月11日(火)に実施予定

③コンセプト

- ・近隣中学校と明確に識別でき、目指す学校像に配慮したもの
- ・男女ともブレザー型またはスーツ型
- ・30,000円～33,000円に価格設定したもの

【ジャージ】

①依頼先 4社

②プレゼンテーション

- ・各社から試作モデルを5点以内、30分以内でプレゼンテーションする
- ・平成24年11月26日(月)に実施予定

③コンセプト

- ・近隣中学校と明確に識別でき、目指す学校像に配慮したもの
- ・ジャージ上下で10,000円程度、シャツは2,500円以内に価格設定したもの

【ウィンドブレーカー】

①依頼先 4社

②モデル展示(プレゼンテーションはしない)

- ・各社から試作モデルを3点以内
- ・平成24年11月26日(月)に実施予定

③コンセプト

機能面等で条件を満たしたものの中から、低価格のものを採用する予定

【上履き（体育館シューズ兼用）・バッグ・雨具】

①依頼先 5社

②モデル展示（プレゼンテーションはしない）

- ・各社から試作モデルを3点以内
- ・バッグは3年間の使用に耐えられるもの、または買い替えが簡単な安価なもの
- ・平成24年12月11日（火）に実施予定

（3）その他

プレゼンテーションの順番については、公平を期しくじ引きにより決定。

委員長

以上で、議事（1）専門部会報告について、学校運営副部長からの報告が終わりました。ただいまの報告について、質問・意見等はありませんか。

委員

最終的に採用するモデルは、どのような流れで決定していくのか。

副部長

まず、制服等の業者によるプレゼンテーションを実施する。これには、両中学校のPTA役員、教育委員会、そして統合準備委員会の皆様にもできる限り参加してもらいたいと考えている。プレゼンテーションの目的は、数社の候補の中から1社を選定することである。業者決定後は、専門部会が業者と打合せを行い、試作モデルに微調整を加えて最終モデルを完成させ、統合準備委員会に提案するという流れで考えている。

委員長

他に質問・意見等はありませんか。

では、私から質問であるが、制服のコンセプトとして「新しい中学校にふさわしく、近隣中学校と明確に識別でき、生徒が着たいと思える制服」と抽象的な表現がなされているが、近隣中学校とは茨城町内の中学校を指しているのか、また、明確に識別できるとはどのようなことをイメージしているのかを回答願いたい。

副部長

ただいまの質問のように、業者からもどんな制服を作りたいのかももう少し明確にしてほしいとの意見が寄せられた。その際業者には、小美玉市、笠間市、水戸市近辺においてその制服を見たら、茨城町のあの中学校だと分かるような制服にしたい、そして、最も大事なことは、生徒達自身が制服に愛着を感じ、小学生達もあの制服を着てみたいと思えるようなものを提案してもらいたいと説明した。

確かに抽象的な表現であり、ただいまの説明も曖昧なものだったかもしれないが、最終的には業者の能力を信用し、良いものを提案してくださいと依頼させてもらった。

委員長

確かに、これを上手く表現するのは難しいと思う。説明があったように、近隣の中学校とは、小美玉市、笠間市、水戸市等と比較したものであり、茨城町の中学校の生徒であるという誇りが持てるような、そして識別できるようなものをイメージしてこのような表現をしているのだと思う。後は、業者の腕の見せ所だと思う。

他に質問・意見等はありませんか。

委員

プレゼンテーションの後、統合準備委員会に提案されるモデルの中に良いものがなく、全て不採用となった場合はどうするのか。

副部長

全てのモデルが不採用と評価されることは想定していなかった。既に、選定候補となる業者は数社に絞っており、後から候補に入れてほしいと挨拶にきた業者については全て断ってきた。そのため、統合準備委員会に提案されたモデルに良いものがなくても他の業者に依頼することはできない。

したがって、提案されたモデルに良いものがなくても、必ず業者は1社選定し、その業者とのやり取りによって異なるモデルを試作するという対応を考えたい。

議事（2）統合校の名称について

委員長

議事（2）統合校の名称について、事務局からの説明を求めます。

事務局

本日は、委員の皆様にも事前投票してもらった結果をもとに協議を進めていきたい。

まず、校名の応募状況等の概要について説明する。

【応募状況等の概要】

- ・ 募集期間 平成24年7月20日（金）～平成24年9月7日（金）（50日間）
- ・ 応募総数 430件（うち児童生徒・教職員340件、保護者・学区住民45件、卒業生33件
無効12件）

・ 校名案数 238件

238件の校名案の中から、委員の皆様にも3～5件投票してもらった結果46件に絞り込まれた。そして、その46件を次の3つに分類した。

①両校の文字を使用した校名 5件（委員投票数 14票）

応募件数 31件（応募票数 146票 34.9%）

主な理由 両校の文字を残したい、両校が統合したという歴史を残したい、公平に1文字ずつ使用した等

②両校のいずれかの文字を使用した校名 9件（委員投票数 12票）

応募件数 45件（応募票数 63票 15.1%）

主な理由 「桜」の文字を使用し、桜丘中学校への思いを寄せたものが多い

※「希望ヶ丘」、「南丘」等の「丘」は、桜丘中学校を意識したものではないかもしれないが、「丘」の文字を使用しているため②に分類

③両校の文字を使用しない校名 32件（委員投票数 48票）

応募件数 162件（応募票数 209票 50.0%）

主な理由 対等な統合であり、両校の歴史や伝統を残しつつも新しい学校を創り上げていくという思いを寄せたものが多い

このように3つに分類したが、3つの分類の中から1つを選び、さらに絞り込んでいくべきか。いずれにしても、両校の歴史をふまえつつも新しい学校を創り上げていくということをふまえて、皆様に協議してもらいたい。

委員長

事務局から「両校の文字を使用した校名」、「両校のいずれかの文字を使用した校名」、「両校の文字を使用しない校名」の3つに分類したとの説明があったが、上手い分け方をしたと思う。これから協議をしてく上での足がかりになると思うので、皆様からも忌憚のない意見を出してもらいたい。

委員

応募結果のリストで、校名とそれを考えた理由や想いを見ると、どちらの学校に通っている子や親か、また、どちらの学校の卒業生なのか推測できるものが多かった。ということは、両校の文字を使用した場合はどちらの学校の文字が先になっているかで問題になり、また、いずれかの学校の文字しか使用しなかった場合には、文字が残らなかった学校側に不満が残るのではと思う。子ども達のことを考えれば、両校の文字は使用せず、子ども達がこれから目指すべきものを意味するような校名をこの中から選びたいと思う。

委員長

各中学校の関係者の意見を伺いたい。

委員

卒業生としては、校名に対する思い入れがたくさんあるが、これからの子ども達のことを考えれば、対等でかつ良い学校を創り上げていくことが理想なのだと思う。したがって、統合中学校には、両校の文字を使用しない校名が良いのではと考える。

委員

私もただ今の意見と同様に、これからのことを考えると、子ども達や親も含めて全く新しい校名にするのが理想的だと思う。しかし、私自身の頭の片隅には、卒業生としての思い入れがあるというのが正直なところであるが、その思いは別として、両校の文字を使用しない校名が良いのではと考える。

委員長

桜丘中学校と梅香中学校を統合し、茨城町全体のこととして考えるべきことなので、思い入れは各々あるだろうが全体を考えて協議する必要があると思う。

他に意見はありませんか。

委員

今日、ある中学3年生と学校名のことで話をした。どんな校名が良いのか問いかけると、「桜」と「梅」の両方の文字が入れば、例えば、自分は統合中学校の「梅」の出身だと言えるのだという話であった。それでは「桜」と「梅」の両方を使用する校名となり、自ずと校名は決まってしまうが、卒業生の母校に対する思いとはそのようなものなのかなと感じさせられた。全く新しい中学校になり、特に梅香の子ども達にとっては、梅香の地から中学校がなくなってしまうので、何かが残るような校名が良いのではと思った。

委員長

各中学校の関係者の方、ご意見ありがとうございました。

私としては、事務局が示した3つの分類を見て、両校の文字を使用せず、新たな発想で校名を決めていっても良いのかなという思いがある。

今日中に校名案を3つ程度に絞るべきか。もしくは、事務局が示した3つの分類の中から1つを選び、次回以降に協議を進めるべきか。それとも、各自で検討するために10日程度の間を空けて、次回以降の協議とするべきか、皆様の意見を伺いたい。

委員

10日後でも今日でも何も変わらない気がする。

委員

本日中に、3つの分類「両校の文字を使用した校名」、「両校のいずれかの文字を使用した校名」、「両校の文字を使用しない校名」の中から1つを決めておけば、次回以降の協議で校名を絞りやすくなるのではないか。

委員長

「両校の文字を使用しない校名」に委員の投票が48票入っており、これは大多数と言える。したがって、「両校の文字を使用しない校名」に絞り、今後の協議を進めたいと思うが如何でしょうか。

—異議なし—

委員長

それでは「両校の文字を使用しない校名」の中から候補を絞っていきたいと思う。

事務局

ただいまの協議で「両校の文字を使用しない校名」の中から候補を絞っていくことが決定した。「両校の文字を使用しない校名」には多くの票が入っているので、この中から皆様が考える候補を3～5件投票してもらい、その結果をもとに資料を準備し、次回協議するという事でよろしいか。

委員長

事務局からの提案であるが、せつかく校名を決めるのだから、そして一度決まれば100年、200年先まで校名は変わらないのだから、私としても時間をかけて慎重に協議していくべきだと思う。事務局の提案に異議はありませんか。

－異議なし－

委員長

それでは各自持ち帰り、ゆっくり考えてもらいたい。

委員

質問ですが、「両校の文字を使用しない校名」の中に「茨城中学校」という候補があるが、私立の「茨城中学校」と重複しても問題はないのか。

事務局

既にある校名と重複しなければ間違いはないと思うが、重複した校名を申請できるかについては次回までに調査しておく。

委員長

では、各委員が「両校の文字を使用しない校名」の中から3～5件を投票し、それをもとに校名を絞っていきたい。

他に意見等はありませんか。

事務局

皆様に協議してもらい、取扱いを明確にしておきたい事項がある。「両校のいずれかの文字を使用した校名」の中には、一例として「希望ヶ丘」という校名案がある。これは桜丘中学校から取った「丘」ではなく、「希望が丘」という1つの名詞として応募されてきた校名案である。こうした候補を「両校のいずれかの文字を使用した校名」にリストアップしているため、今度の投票において候補に加えなくて良いのか疑問が残っている。これらについては、「両校の文字を使用しない校名」と解釈した上で、候補に加えるべきかを協議し、取扱いを明確にしておきたいと考えている。

委員長

もう少し分かりやすく説明してもらえないか。

委員

「希望ヶ丘」という校名案は、「両校のいずれかの文字を使用した校名」に分類されているが、これは「丘」の文字が入っているため、形式的にそこに分類されているだけであって、応募者の意図を酌めば、桜丘中学校から取った「丘」ではなく、「希望ヶ丘」という全く新しい校名として応募したのだから、「両校の文字を使用しない校名」として取扱い、候補に入れても良いのではないかということだと思う。

委員

応募者の校名を考えた理由や想いで判断すれば良いのではないか。

委員

「希望ヶ丘」の応募者は4名いるが、その理由や思いを見ると桜丘中学校から「丘」の一文字を取って校名を考えたとは誰も書いていない。全く別な理由や思いで応募してきている。

委員

桜丘中学校から「丘」の一文字を取って応募したわけではないのであれば、候補に加えても問題はなかろうと思う。

事務局

現在、候補に加えるべきか判断しかねるものとして「希望ヶ丘」のほかに「南丘」等がある。これらについては、応募者の意図を酌んで、次回の委員会で候補に加えるべきか判断してもらいたい。

委員

事務局としては、これらも候補に入れるべきだと考えているのでしょうか。

事務局

入れても良いのではと考えている。そして、応募の理由や想いを整理し、次回の委員会でそのように判断した理由を説明させてもらった上で、皆様に決してもらいたいと考えている。

委員

これらを入れるかについては、今、決めてしまってはどうか。

委員長

それでは、事務局から「希望ヶ丘」、「南丘」等の取扱いについて説明があったが、最終的な校名の決定に影響を及ぼす問題ではないので、今度の委員投票にはこれらを候補に入れるということで異議はありませんか。

—異議なし—

委員長

他に意見・質問等はありませんか。

委員

「両校の文字を使用しない校名」の中に「さくら台」という校名案があるが、これはひらがなであっても「さくら」が入っているので除いた方が良いのではないか。

事務局

「桜」の文字は使用していないが、読み方は同じであるのでこれも協議してもらいたい。

委員長

これは明らかですね。混乱するのでこれは候補から除いてください。

事務局

分かりました。

委員長

他に意見・質問等はありませんか。

事務局

「両校の文字を使用しない校名」の中から「さくら台」を除き、応募者の理由や想い等、内容を精査した上で「希望ヶ丘」や「南丘」等を含めた投票リストを皆様に郵送するので、その中から考える候補を投票してもらいたい。その投票結果をもとに、次回の協議をしてもらいたいと思う。

当初は、校名を決定してから、校歌と校章の協議を順にする予定であったが、町議会の議決を経て正式に校名が承認されてから協議を進めたいので、それらについては来年の1月頃から協議をしていきたいと考えている。それまでは、もう1つの検討課題であるスクールバスについて本格的な協議をしていきたいと考えている。

また、初めに学校運営副部長から説明があったように、制服・ジャージ等のプレゼンテーションを予定している。平日の夕方を予定しており、参加するのは難しいかもしれないが、都合のつく方については参加していただき、ご意見・ご感想をいただければと思う。

議事（3）その他（次回開催等について）

委員長

事務局から説明・報告等をお願いします。

事務局

次回の委員会は、10月31日（水）を予定している。

これまでと同様に、委員会の事前に関係資料を郵送させてもらう。また、前回と同様に校名候補の投票もお願いしたい。

委員

次回は、校名候補を3つ程度に絞り込むことが目的になるのか。もしくは、最終決定することを目的としているのか。

事務局

できれば1つに絞り込みたいと考えている。

委員

次回で最終決定しましょうということですね。

事務局

はい。11月の中旬に定例教育委員会が予定されており、そこで校名の決定に関する報告を予定しているので、次回もしくは次回で決まらなければ11月上旬にもう一度委員会を開催し、校名を決定したいと考えている。そして、定例教育委員会への報告を経て、12月の定例議会に諮りたいと考えている。

委員長

他に質問等はありませんか。

副部長

確認であるが、統合中学校の校名に「桜」や「梅」の文字が入らないという本日の決定事項について、制服・ジャージ等の業者に通知しても問題はないか。

委員長

委員会での決定事項なので通知しても良いでしょう。

副部長

では、今後のプレゼンテーションのために情報を提供させてもらう。

もう1つ確認であるが、プレゼンテーションでは、業者に対する評価の公平を期すため、全業者のプレゼンテーションを聴取しなかった者は、評価ポイントの投票ができないということを了解してもらいたい。ただし、ポイントの投票はできずとも、ご意見・ご感想等がある場合には参考意見として反映したいと考えている。

委員長

他に質問・意見はありませんか。

特になければ本日はこれで終了する。